

図 24 建物分布図(天空率分布図)

1. 図の基本情報	
1) 図のタイトル、目的	天空率分布図 (目的：建物による空間の遮蔽状況の分布の把握)
2) 図のスケール	約 40km × 約 30km
3) 図の作成年月	2003 年 3 月
2. 図の作成手順	
1) 図の使用データ	東京都 GIS データ (1996・1997 年)
2) 図の作成手順	東京都 GIS データの建物分布から、建物による対象空間の遮蔽状況を示す天空率の分布状況を示す図を作成した。天空率については GIS を用いてメッシュ内の建物配置をモデル化して算出を行った (UCSS に基づく)。
3) 図の解像度	メッシュの大きさ：500m × 500m
4) 作成上の留意点	
3. 図の解説等	
1) 図の見方	天空率に応じた色分けによる分布を示している。
2) 図の解説	臨海部では天空率の大きなエリアが連続しており、内陸部でも緑地等で天空率の大きなエリアが点在している。都心部では天空率が 0.3～0.4 程度のエリアが集中している。

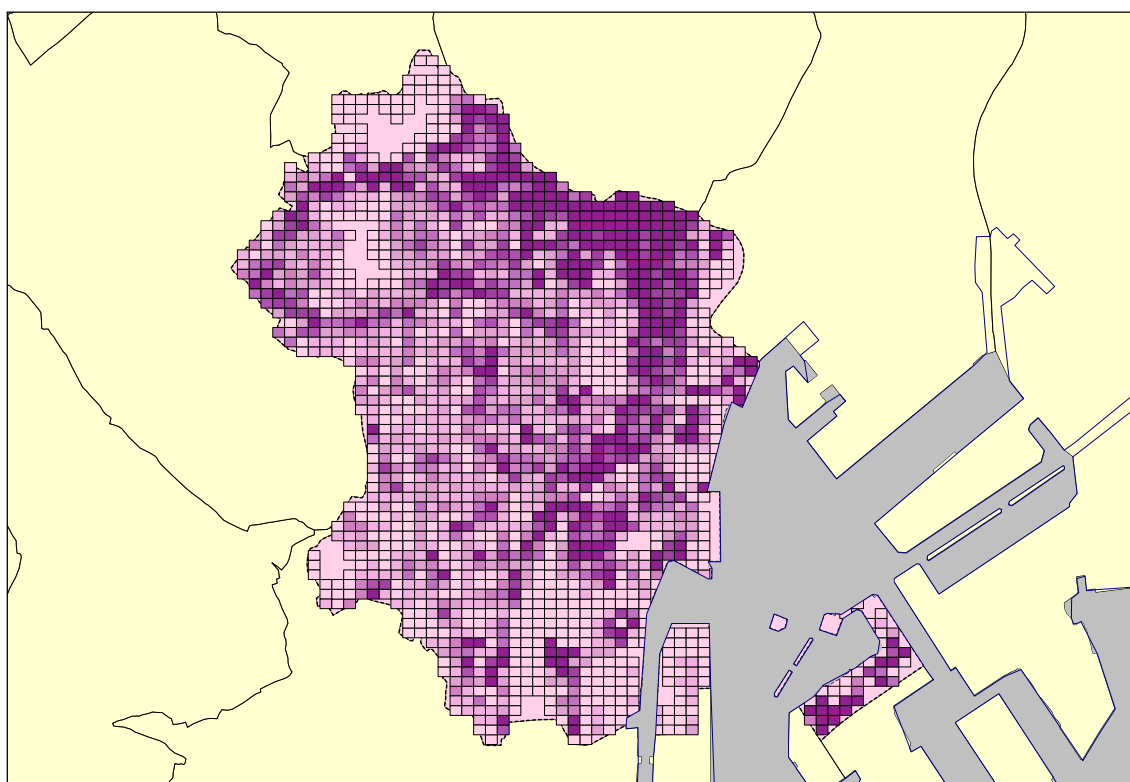


図 25 建物分布図(粗度長分布図)

1. 図の基本情報	
1) 図のタイトル、目的	粗度長分布図 (目的：建物による空気力学的抵抗の分布状況の把握)
2) 図のスケール	約 40km × 約 30km
3) 図の作成年月	2002 年 3 月
2. 図の作成手順	
1) 図の使用データ	東京都 GIS データ (1996・1997 年)
2) 図の作成手順	東京都 GIS データの建物分布から、建物の空気力学的な抵抗を示す粗度長の分布状況を示す図を作成した。風向については南風を対象とし、Lettau の推定式を用いて粗度長を算出した。
3) 図の解像度	メッシュの大きさ：100m × 100m
4) 作成上の留意点	同一メッシュでも風向によって粗度長の大きさは変化する。
3. 図の解説等	
1) 図の見方	粗度長に応じた色分けによる分布を示している。
2) 図の解説	北部の業務・商業施設の集積地区や幹線道路沿いに粗度長の高いエリアが連続している。